

府省名	金融庁	部署名	総合政策局総務課国際室企画係
-----	-----	-----	----------------

取組のポイント

メンバーの多様な価値観を受容できる環境を整備しつつ、業務遂行の円滑化を図るため、“5つの見える化”として、業務に関する係内の情報の「見える化」を強く推進。

その結果、業務効率化の取組のリスト化により、「仕事をしないという決定(スクラップ)」も成果として認識され、業務効率化の意思決定がしやすくなったほか、係内業務分担及び休暇計画を見える化することで、係内での休暇取得時の事前業務調整が効率化され、育児や自己研鑽のための休暇が取りやすくなった、といった成果が出ている。

取組概要

【取組の背景】

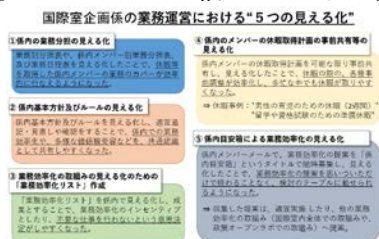
国際室企画係は、G20や金融安定理事会(FSB)といった国際会議を担当。特に2018～2019事務年度にかけては、業務が多忙となる中、男の産休・育休、留学や資格試験準備のための休暇の取得、係での所管業務以外の業務への貢献等を実現するためには、業務効率化が不可欠となっていた。そのため「5つの見える化」により、係内メンバーの多様な価値観を受容できる環境整備に取り組んだ。

【取組の内容】

- 1 係内の業務分担の見える化:業務別分担表や、係内メンバー別業務分担表、業務日程表を見える化。業務分担を明確化することで、休暇等を取得した係内メンバーの業務のカバーが効率的に行えるようにする。
- 2 係内基本方針及びルールに見える化:適宜追記・見直しや確認をすることで、業務効率化・多様な価値観受容の環境作りの基礎とする。
- 3 業務効率化の取組の見える化:「業務効率化リスト」を作成し、業務効率化のインセンティブとしたり、成果として残るようにする。
- 4 休暇取得計画の事前共有等の見える化:「育児のための休暇」、「留学や資格試験のための準備休暇」の事前アナウンスにより各種調整を効率化。
- 5 係内目安箱による業務効率化の見える化:係内メンバーメールで業務効率化の提案を「係内目安箱」というタイトルで随時募集。収集した提案は、適宜実施したり、室全体での業務効率化の取組や、政策オープンラボでの取組へ提案。

【取組の成果】

- ・新業務の追加等の状況変化に対し業務分担表に従った効率的な対応が可能になった。
- ・基本方針及びルールに見える化により、係内に共通認識を共有しやすくなった。
- ・「仕事をしないという決定(scrap)」を成果とすることで、意思決定しやすくなった。
- ・休暇取得計画により、多忙であっても育児や自己研鑽のため休暇取得が容易になった。
- ・業務効率化の提案を検討のテーブルに載せられるようになった。



【5つの見える化】

講評

多様な価値観を持つ職員を前提とし、業務遂行の円滑化を図るために、基本方針と基本業務ルールを設定し、その上で業務の見える化を推進しつつ、職員のワークライフバランスの向上に取り組んでおり高く評価できる。他の職場にも横展開できる内容。